

河合 宏起さん(31) 美沙紀さん(31)
蓮叶くん(9) 藍叶くん(5)
蕾叶くん(4)



「最近次男が牛飼いがやりたい! トランクターに乗りたいと言い出しているんです。子どもたちは好きなことをやっていってくれればいいと思っています。ひとりくらい地元に残ってくれたらいいな…というのが親の本音ですかね」と宏起さん。

泰阜村から阿智村へ。 祖父の後を継いで、 黒毛和牛の飼育農家に。



「自分は泰阜村の出身です。河合家は母の実家で、小さい頃から行つたり来たりしていました。祖父が牛を飼つているのを幼い頃から見て、時々手伝つたりしているうちに将来自分もやつてみてもいいかなと思い始めたのだと思います。河合家には後継者がいなかつたので、中学生ぐらいのときに祖父の後を継いで牛をやろうと決意し、地元の阿智高校に通うタイミングで養成

牛舎にほど近いご自宅は平成27年に新築。妻の美沙紀さんと元気いっぱいの蓮叶くん、藍叶くん、蕾叶くんの三兄弟の5人家族で暮らす。隣接する旧宅には、宏起さんのおばあちゃんがお住まいになつていて。

そもそも宏起さんが畜産の仕事に興味を持ったのは、どんなきっかけだったのだろう。



「部活内の練習試合では、一度も彼女に勝てなかったんですよ」と宏起さん。「夜中でもひとりで牛舎に行って分娩に立ち会う姿、仕事とはいえたへんだなと尊敬しています」と美沙紀さん。

若い世代が頑張っているので、仲間でよく情報交換しています。

阿智村伍和の栗矢地区で黒毛和牛の繁殖農家を営む河合宏起さん。

「今ここには黒毛和牛の母牛が18頭、仔牛が11頭います。牛の飼育農家には役割分担があつて、うちちは母牛を飼育し子どもを産ませて7～9ヶ月ぐらいで出荷するまでの『繁殖農家』をしています。阿智村には繁殖農家が結構多く、若い世代が頑張っているので、仲間で餌や繁殖のことなどよく情報交換していますよ」

牛舎にほど近いご自宅は平成27年に新築。妻の美沙紀さんと元気いっぱいの蓮叶くん、藍叶くん、蕾叶くんの三兄弟の5人家族で暮らす。隣接する旧宅には、宏起さんのおばあちゃんがお住まいになつていて。

そもそも宏起さんが畜産の仕事に興味を持ったのは、どんなきっかけだったのだろう。

牛の出産に立ち会つたりしたら、感動移入してしまうかも…。

長男なんですが、両親がよく許してくれたな…と今でも思いますよ」

妻の美沙紀さんは平谷村出身。宏起さんは高校時代同じテニス部で毎日を過ごした仲間同士でもある。

「もともと動物は好きなので、主人が牛の飼育農家であることに特に抵抗はありませんでした。今は子育てに忙しい毎日でなかなか牛の方は手伝えられないんですけど、今後牛の出産に立ち会つたりしたら感情移入してしまうかもしれないですね。子どもたちはよく牛舎に来て、えさやりなど手伝つてくれていますよ」

やさしい眼差しの向こうで、最近やつと牛に慣れてきたという三男の蕾叶くんが、お兄ちゃんたちに負けじと生懸命わらを運んでいた。

飼育の合間に花火の打ち上げ、秋には干し柿で大忙し。

宏起さんの1日は長い。

「夏場だと朝7時ぐらいにまず水やり、えさやり、たい肥出しをします。日中は牧草や周辺の草刈りなどをして、夕方にはまた水やり、えさやり、たい肥出し。さらにお祭りシーズンは合間に花火の打ち上げに行ったりしています。花火が終わると、ちょうど干し柿のシーズンなんでもまた忙しくなるんですよね」

「煙火打揚従事者」の資格を持つ宏起さん。7月から10月中旬ぐらいまでは、ほぼ毎週末南信州エリアのあちこちで花火を上げるようになり、地元の花火だけは自分たちでやろう、と地区的先輩方が皆打ち上げの資格を持っているんです。僕は資格を取って10年ぐらい。もちろん栗矢の花火も打ち上げています」

誰かに指示されるより、自分で考えて判断できる

この仕事があつてないかな

「生き物を相手にするこの仕事に365日休みはありません。子どもたちも小さいので家族でゆっくり旅行に連れていくてあげたいと思って、牛のお産と重なったりしてタイミングが合わないこともあります。たいへんなことも多いですけれど、自分はサラリーマンのようになんかに指示されて行動するよりもこの仕事があつていいんじゃないかな」

河合家に入つてしまふくら



ちの花火大会で、準備から打ち上げ、片づけに奔走。合間に縫つて牛舎に戻り牛の世話をあたるという慌ただしい日々を送っている。

「栗矢地区は、15年位前から秋祭りで花火を上げるようになり、地元の花火だけは自分たちでやろう、と地区的先輩方が皆打ち上げの資格を持っているんです。僕は資格を取って10年ぐらい。もちろん栗矢の花火も打ち上げています」

「生き物を相手にするこの仕事に365日休みはありません。子どもたちも小さいので家族でゆっくり旅行に連れていくてあげたいと思って、牛のお産と重なったりしてタイミングが合わないこともあります。たいへんなこともあります。たいへんなことも多いですけれど、自分はサラリーマンのようになんかに指示されて行動するよりもこの仕事があつていいんじゃないかな」



元気いっぱいの蓮叶くん、藍叶くん、蕾叶くん。三兄弟なら、どこでも楽しい遊び場だ!

河合さんもこの制度を利用されました!



阿智村役場
定住支援センター
菱田です

定住を希望する 20~40歳の定住者へ
若い世代をバックアップ!



移住・定住と聞くと、村外から新しく村に来るIUTAーン者というイメージを持たれるかもしれません。しかし村の補助金の多くは、IUTAーン者のみならず、すでに村内に生活している方にも同じようにご利用されました。

用いただけるものばかりです。

なかでも「若者定住支援金」は、村内に定住意志のある若年層(20歳~40歳)の住宅建設に対する支援制度で、住宅用地や中古住宅の取得の場合や、住宅を新築または増改築される場合、最大220万円まで支援金を受け取ることができます。ご自宅を新築された河合さんも、この制度を利用されました。

注目は、中古住宅の取得も対象になること。中古住宅を取得して増改築を行う場合なら、住宅の取得と増改築の両方で補助を受けることが可能です。

新しい環境への一步を応援する、それが定住者支援・補助です。詳しくは阿智村役場定住支援センターまで、お気軽にご相談ください。

対象

阿智村に定住目的で宅地や空き家を取得、住宅を新築または増改築する20~40歳の方。

補助額

①住宅用地・中古住宅の取得	【補助率】取得金額の3分の1	【限度額】100万円
②住宅の新・増・改築	【補助率】建築工事費の10分の1	
【限度額】 A新築 100万円 B新築 120万円		
(村内事業者との請負契約、または建築にかかる2業種以上で村内事業者が工事を施工し、その工事費が100万円以上かつ1棟種が30万円以上の場合)		
C増改築 50万円 D増改築 新築Bの条件の場合 70万円		

この補助金も加えて利用! /

集落定住支援金

41~50歳の定住者へ

41歳~50歳の方の場合は、金額は減りますが現状の集落を維持していくための「集落定住支援金」制度があります。なお、高齢化率が40%以上の集落で家を増改築などする場合は、年齢制限があります。

※2016年4月1日からの定住者支援・補助内容です。詳しくは下記まで。



阿智家族パンフレット総合版④、カジュアル版⑤

ホームページ

詳しくはパンフレット、ホームページをご覧ください!

阿智村役場にお越しになれない方は、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、左記までお申し込みください。

星ふるさと
阿智村
日本一の星空と
花桃といで湯の郷

“定住”に関するご相談・お問い合わせはお気軽にお問い合わせセンターまで
0265-43-2220 (内線513)

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483
FAX0265-43-3940 teijyu@vill.achi.nagano.jp
<http://www.vill.achi.lg.jp>



<http://www.vill.achi.lg.jp/site/teiju/>

阿智家族 検索